

令和4年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和4年10月18日（火）、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和4年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、ご来賓として長崎県を始め佐世保市、西海市を代表する方々、全駐労長崎地区本部執行委員長のご臨席を賜り、3年ぶりの開催となりました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された146名の従業員に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として伊藤哲也九州防衛局長から「従業員皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表し、皆様方の日々のご活躍が在日米軍の安定的な駐留や日々の活動に寄与し、日米安全保障体制を支えています。」と、また、デイビッド・アダムス米海軍佐世保基地司令官から「佐世保基地が評判の高い基地であるのは、皆様のお仕事が素晴らしいから。従業員の方々は、「チームCFAS」の中心で核となる存在であり、皆様の勤勉さとプロ意識が数々の業績を成し遂げた。」との式辞がそれぞれ述べられました。

引き続き、勤続年数に応じ30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、安全衛生部の林一也氏が、「私たちが、永きにわたり勤務出来たことは日米両国の関係者等のご協力によるものです。これからも困難を乗り越え、良好な日米関係を維持するため、一層努力する所存です。」との答辞を述べられ、式典は滞りなく終了しました。



▲伊藤哲也九州防衛局長の式辞



▲デイビッド・アダムス米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞